

EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド

この章では、一旦 PC との使い方から離れ、EWI を常に良いコンディションに保つために必要なメンテナンス方法をご紹介します。定期的に行うことで EWI の吹奏感の悪化、キータッチの誤動作やその他の故障などを未然に防ぐことができます。

他の吹奏楽器と同様に EWI にも定期的なメンテナンスが必要となります。プラスドライバー 1 本とクロスがあれば初めての方でも簡単にできますので、以下の解説を見ながら必要に応じて行ってください。

EWI のメンテナンス方法

- 13-1 水抜き
- 13-2 キーのクリーニング
- 13-3 マウスピースの洗浄
- 13-4 ビブレードセンサーの点検

EWI を
PC で
楽しむ



13-1 水抜き

EWI 内部にはチューブが 2 本あり、そのうち 1 本はプレスセンサーへ、もう 1 本は本体下の水抜き穴に繋がっています。演奏後は EWI 本体内のチューブに水分がたまりまますので一定時間本体を縦に置いておくことで水抜き穴から水分が排出されます。なお、エアードスターなどのスプレーは空気圧が高いため、水抜きに使用すると内部のチューブが外れてしまう可能性がありますのでご注意ください。



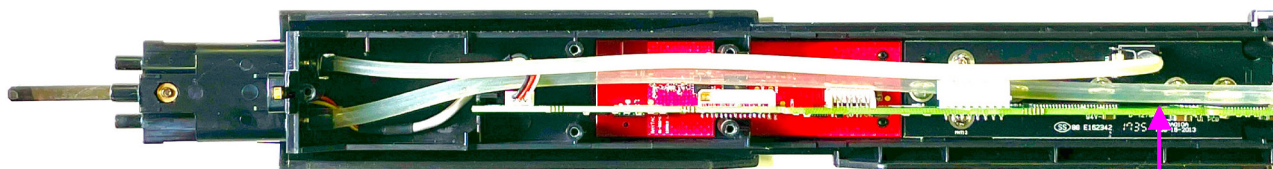
▲水抜き穴

13-2 キーのクリーニング

汗などがキーの間に入った場合に正常にタッチセンサーが反応せず誤動作する場合があります。そのため、毎回演奏後に乾いたクロスでキーだけではなくキーの間も拭くように心がけてください。



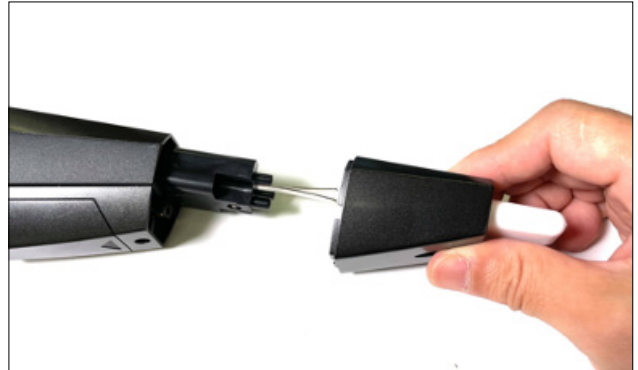
▲キーの間をクロスで拭く



水抜きチューブ

13-3 マウスピース洗浄

演奏の後に定期的に行うのがお勧めです。ネジで固定されているためプラスドライバーでネジを外して、プラスチック部をゆっくり引き抜くことで取り外せます。取り外したマウスピースは水洗いが可能ですので水道水などで十分に汚れを洗い流してください。本体へマウスピースを取り付ける際は、完全に乾かしてから行ってください。



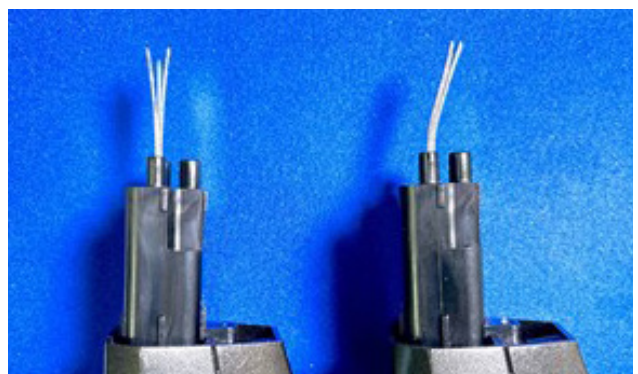
* マウスピースを取り付ける際の注意

マウスピースの中にはビブラートセンサー（金属製のプレート）が挿入されています。戻す際にこのビブラートセンサーを傷つけたり変形させたりしないよう、慎重にマウスピース中央の穴にビブラートセンサーを挿入し、マウスピースを本体に装着してください。



13-4 ビブラートセンサーの点検

ビブラートセンサーは2枚の金属プレートと樹脂製の絶縁体で構成されています。マウスピースを噛むことで2枚の金属プレートの間隔の変化を音程の変化として検知します。そのため、外部から極端な力が加わるなど、金属プレートが変形してしまうとビブラートが正常にからなくなります。ビブラートのかかり方が不自然だと感じたら、金属プレートが変形してしまっている可能性があるためマウスピースを外してビブラートセンサーの形状を確認してみましょう。軽度な変形の場合には、右の画像の形になるように指で修正してください。ご自身で調整が難しい場合には、カスタマーサポートへ修理をご依頼ください。



▲ (左) 正常 (右) 変形してしまったビブラートセンサー